令和4年度　富士宮市立富丘小学校　グランドデザイン

国・県・市の方針

国：生きる力　資質・能力３つの柱
県　有徳の人づくり
　～才徳兼備の人づくり～
市：「富士山を心に、
　夢をもって生きる子ども」

本校の強みとよさ

子　供：・素直で明るく活発に活動できる。
　　・目標が決まると、それに向けて集中して取り組む。
学　校：・特別活動が充実している
　　・組織的対応の徹底により「チーム富丘」として機能している。
保・地：・地域の応援団が多く地区としてのまとまりがある。
　　・富丘交流センターが交流起点として位置付いている。

本校の教育課題

・学習における自己調整力の育成
・「聴く」「話す」の充実によるコミュニケーション能力の育成
・見通しをもち粘り強く取り組む姿勢
・バランスのとれた体力の向上・基礎学力の定着
・人間関係形成能力の育成・家庭学習への自主的な取組
・特別支援教育の充実・道徳性の涵養

学校教育目標：夢をもち、共に学び続ける富丘の子

富士宮第四中学校
学校教育目標
主体的に行動する生徒

学校経営目標　「自己調整力とコミュニケーション能力、やり抜く力、創造性を育む教育の推進」

①「自己調整力」:自分の学びの過程や行動を振り返り、調整しながら、よりよくしていく力
②「コミュニケーション能力」:相手の考えを理解しようと聴く力、相手に伝わるように話す力
③「やり抜く力」:目標やゴール、問題解決等に向けて、見通しをもち、あきらめずに努力し続ける力
④「創造性」:身に付けた知識や技能を関連付けたり活用したりして、新たな方法や考えを創り出す力

Action　Plan　Do　Check

課題への具体策の改善

・職員会議共通理解→アクション
・ICT推進部会・学力向上部会・生活向上部会・健康安全部会の３部会のマスタープランの見直しと提案
・３部会長による調整会議＋ICT推進会議

生活向上部
や さしい子

・みんなが喜ぶ係活動や委員会活動（ICTの効果的活用）「We can！」①③④
・仲間と認め合うコミュニケーションタイム「You can！」②④
・伝わるあいさつ「hert to heart」②

安全・安心な学校づくり

・感染症防止教育の推進
・新しい生活様式の徹底と対応した教育活動
・危機予測できる児童の育成
・アレルギー対応
・学校安全計画の実施
・人権意識の向上（傾聴）

ICT活用推進部

・ICTでつなぐ特別活動②③④
・単元と家庭学習で効果を高めるICT①
・げんきな心をつくるICTモラル①④

ユニバーサルデザインを生かした支援

・生活環境づくり
・授業環境づくり
・個に応じた支援体制の構築
・LGBTQ等多様性への配慮

健康安全部
げ んきな子

・教科体育の充実（運動量＋コミュニケーション＋ICTの効果的活用）①②③
・見て・聴いて整える生活習慣（黙働・時計を見る・チャイム起立）①④
・感染症やけがを防ぐ健康週間①④
・あいであふれる健康観察（あいさつ＋アイコンタクト）②

学力向上部
き いて伝える子

・子供が夢中になる単元構想①②③
・「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」②
・１学年１授業公開①
・「主体的に学習に取り組む態度」の育成③
・ICTの効果的活用④

令和の日本型教育への対応
○「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるためのICTの効果的な活用
○資質・能力を身に付ける、教科等横断的活動
○キャリア教育とSDGsを各学年でつなぐ「けやき学習」
○教科領域等と関連させた英語教育推進の継続　○全教育活動で行う道徳教育

やさしく・あたたかく・ていねいに

地域との連携

・地域学校協働本部事業「富丘小を応援し隊」
・地域人材・地域素材の活用
・学校便り地域配付
・青少年育成連絡会
・地域行事（防災訓練・祭り等）への参加

家庭との連携

・読書通帳・毎月のメディアデイ
・授業につながる家庭学習（発達段階に応じた学習習慣、自主学習）
・基本的な生活習慣の定着

園・中との連携

・四中との接続による取組の充実
・「キャリアパスポート」の接続
・四中との児童生徒交流
・保育園・幼稚園との交流（学校紹介）
・園・中との連携による特別支援教育の充実

社会に開かれた教育課程の実現

自己評価・他者評価

・学校評価の実施と公表（年２回）
・PTA常任委員会
・学校評議員会・毎月の振り返り（各部会・学年部）
・学力・学習状況調査・学力調査の分析
・富丘小を応援し隊メンバーによる評価

【評価の視点】	達成目標	１学期	２学期
授業が分かる	90%		
聴き合い・話し合う授業ができる	90%		
家庭学習に進んで取り組んでいる	90%		
本を読むことを楽しんでいる	80%		
進んで取り組める活動がある	90%		
進んであいさつができる	90%		
めあてをもって運動する	90%		